

令和4年11月30日

保護者・地域の皆様へ

## 令和4年度全国学力・学習状況調査の結果と分析について

江別市立大麻中学校

校長 藤村 哲子

初霜の候、保護者の皆様におかれましては、ご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より本校の教育活動に対し、ご理解・ご協力いただいていることに心から感謝申し上げます。

さて、先日、江別市教育委員会より、5月に行われました全国学力・学習状況調査の結果が発表されました。小学校は全道・全国の平均正答率を上回りました。中学校では国語が全道・全国平均をやや下回り、数学は全道・全国平均を上回る結果となりました。そこで、大麻中学校の結果や取組についてお知らせしたいと思います。

今回の調査で大麻中学校の3年生は国語、数学、理科共に全国平均を上回っていました。しかし、課題のある領域もいくつかありました。生徒質問紙調査では、生活習慣や自己の将来などに関する設問に課題が残るものがありました。

今回の調査は3年生が対象でしたが、他学年を含めて学校全体の課題として捉え、改善に向けて取り組めます。しかし、いずれの課題も学校だけで改善できるものではありません。学校と家庭がともに取組をすすめることで、より効果的な取組とすることができます。

家庭は、子どもたちにとって温かく愛情に包まれた心のよりどころであり、望ましい習慣を身に付ける場でもあります。保護者・地域の皆様には、これまで同様に大麻中学校の教育活動にご理解とご協力をお願いします。なお、問題や正答例、解説資料などは国立教育政策研究所のHPからダウンロードできますのでご覧いただきたいと思います。

### I 教科に関する状況

#### 1. 国語 … 平均正答率は全国・全道平均を上回っていました。

(1)「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の全ての領域において、全国平均を上回っていました。特に「読むこと」は大きく全国平均を上回っていました。

<全国平均よりできていた問題例>

③ 「陽炎みたいに揺らめきながら」に使われている表現の技法の名称を書き、同じ表現の技法が使われているものを選択する問題 (全15問が全国平均を上回りました)

<全国平均よりできていなかった問題例>

ありませんでした。

#### 2. 数学 … 平均正答率は全国・全道平均を上回っていました。

(1)「数と式」、「図形」、「関数」、「データの活用」のすべての領域について、全国平均を上回って

ました。特に「関数」が全国平均を大きく上回っていました。

＜全国平均よりできていた問題例＞

9(2)  $\angle ABE$ と $\angle CBF$ の和が $30^\circ$ になる理由を示し、 $\angle EBF$ の大きさがいつでも $60^\circ$ になることの説明を完成する (他11問が全国平均を上回りました)

＜全国平均よりできていなかった問題例＞

1「42」を素因数分解する

7(1) コマ回し大会で使用するコマをヒストグラムの特徴を基に選び、選んだ理由を説明する

### 3. 理科 … 平均正答率は全国・全道平均を上回っていました。

(1)「エネルギー」、「粒子」、「生命」、「地球」のすべての領域について、全国平均を上回っていました。特に「生命」が全国平均を大きく上回っていました。

＜全国平均よりできていた問題例＞

5(1) おもりに働く重力とつり合う力の矢印を選択し、その力について説明する (他17問が全国平均を上回りました)

＜全国平均よりできていなかった問題例＞

1(1) 日常生活の中で、物体が静電気を帯びる現象を選択する

2(2) 気圧、気温、湿度の変化をグラフから読み取り、雲の種類の変化と関連付けて、適切な天気図を選択する

2(3) 上空の気象現象を地上の観測データを用いて推論した考察の妥当性について判断する

7(1) 液体が気体に状態変化することによって温度が下がる身近な現象を選択する

7(2) 吸湿発熱繊維に水蒸気を多く含む空気を通した一つの実験だけで行った考察について課題に正対しているかどうかを検討し、必要な実験を指摘する

## II 生徒質問紙に関する状況

全国平均と比較して特徴的な点について記載しました。

### 1. 全国平均を上回る項目

○先生はあなたのよいところを認めてくれている

○難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している

○学校の授業時間以外に、平日、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(1時間以上)

○土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(2時間以上)

○1,2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか(週1回以上)

○授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか(週1回以上)

- 学級の生徒と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか（週1回以上）
- 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか
- あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか朝食を毎日食べていますか

## 2. 全国平均を下回る項目

- ▲朝食を毎日食べていますか
- ▲毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか
- ▲毎日、同じくらいの時刻に起きていますか
- ▲家で自分で計画を立てて勉強をしていますか
- ▲携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか
- ▲平日、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか（3時間以上）
- ▲平日、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか（3時間以上）
- ▲自分には、よいところがあると思いますか
- ▲将来の夢や目標を持っていますか
- ▲困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか
- ▲学校に行くのは楽しいと思いますか
- ▲学校の授業時間以外に、平日、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（2時間以上）
- ▲土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（3時間以上）
- ▲1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。
- ▲学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか
- ▲今住んでいる地域の行事に参加していますか
- ▲地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか

## Ⅲ 改善の取組

結果について分析し、改善の取組について各担当や教科で検討をすすめ、職員全体で確認しました。その内容の主なものは下記のとおりです。

### 1. 国語

- (1)「思考力・判断力・表現力」は「書くこと」で答える場面が多いので、書く力を伸ばしていく必

要があります。

- (2) 授業のまとめや振り返りの文章を書く場面で条件を提示し、条件作文の課題を適宜与えるなど、条件に合わせた文章を書く機会を増やしていきます。
- (3) 書くこと自体を苦手とする生徒には、書き方の例やヒントを示しながら、書いてみる経験を積みませ、書き方のパターンが身につくように授業に取り入れます。
- (4) 身につけた漢字や語彙の知識を、「書くこと」に生かしていきます。日常的にいろいろな漢字や語句を用いることで、知識のいっそうの定着をはかり、「書くこと」の質を高めます。
- (5) 文章や文字を速く正確に書くトレーニングも必要です。制限時間の中で見た文章を書き写す練習も有効だと考えています。
- (6) 書写の内容についても、細部にわたって指導していきます。

## 2. 数学

- (1) 定期的に復習の時間を確保し、知識・技能の確実な定着を図ります。特に、一年生の内容について、「素因数分解」などの2年生では出てこない内容について意識して復習をします。
- (2) 「データの活用」については、ただ単に知識の習得で終わるのではなく、自分の考えを持ちながら、よく考え調べられる力の育成に努めます。
- (3) 様々な単元で、説明する場面を取り入れ説明する力を養います。
- (4) 習熟度別の授業ではより発展的な課題に積極的に取り組み、活用する力の育成に努めます。
- (5) 基礎基本の身につけていない生徒もあり、普段の授業で、ティームティーチングの先生や支援員、学習サポート教員との連携を密にし、個に応じた指導を実施します。

## 3. 理科

- (1) 授業内容にインパクトを強く持たせることで、考えを深めさせ、長期記憶として知識を定着させていきます。
- (2) 実験・観察の中でより考えることを重視した授業内容を構築していきます。また、授業の振り返りの際、次時の実験を計画し、自ら問題解決するような授業ができるよう努力していきます。
- (3) 授業の最初や終わりに5分間の反復練習や振り返りを行い、知識・技能の確実な定着を図ります。
- (4) 現在学習している内容だけでなく、今まで学習した内容についても折に触れ復習する機会を持ちます。

## 3. 生徒質問紙

### (1) 生活面

#### ①生活習慣と学習習慣の関係性

昨年度全国平均を上回っていた「毎日朝食を食べている」「規則正しい起床・就寝時間」「自分で計画を立てて学習」の質問に対して「1. している」と回答した割合が全国平均を下回りました。これは昨年度と比べて生活習慣に乱れが生じている生徒が増えていると考えられます。また、「計画的な学習をしている」生徒が減少していることも踏まえると、生活習慣が学習習慣にも影響を

及ぼしていることも心配されます。

## ②家庭での過ごし方

「平日、1日当たりの携帯・スマホのSNS、動画視聴(娯楽)の時間(3時間以上)」と「平日、1日当たりのTVゲームの時間(3時間以上)」の割合は全国平均を下回っていますが、経年的に見ると明らかな増加傾向を示しています。また、「平日や学校が休みの日の、1日当たりの授業以外での学習時間(平日2時間以上、学校が休み3時間以上)」の割合も全国平均と比較すると上回っていますが、経年的に見ると減少傾向を示しています。TVゲームとスマホや携帯の使用状況が学習習慣へ影響も与えているのではないかと心配されます。以上のことより、生活面と学習面を関連付けた指導が必要と考えられます。そのために、TVゲームやスマホや携帯のSNSや動画視聴の時間を自己管理する力が身につくよう指導していきます。

## (2) 心理面

「自分にはよいところがあると思いますか」の質問に対して「1.当てはまる」と回答した割合がまだ全国平均を下回っているものの、経年的に見ると増加傾向にあり大変嬉しいです。また、「先生はあなたのよいところを認めてくれている」という質問に対して「1.当てはまる」と回答した割合が全国平均を上回り、経年的にも増加傾向にあります。このことから、自己肯定感が少しずつ高まっており、本校で取り組んでいる「カウンセリング機能やガイダンス機能」の効果が表れてきていると考えられます。

一方では、「将来の夢や目標をもっていますか」や「学校に行くのは楽しいですか」の質問に対して「1.当てはまる」と回答した割合が全国平均を下回り、経年的にも低下傾向を示しています。今後、コロナ禍による学校での様々な活動や学校行事の制限が解消され、生徒が自分の力を発揮し、チャレンジできるような場を増やすことで、自己肯定感をさらに向上させていきます。また、将来の夢や目標に向けた自己啓発活動やキャリア教育を進め、生徒のみなさんの日々の生活を活発にさせるためのモチベーションを上げていきます。

## (3) 学習面

### ①学習時間の減少

「平日や学校が休みの日の、1日当たりの授業以外での学習時間」の質問をさらに詳細に見ると、全体的な学習時間が減少傾向にあります。平日の学習時間で「30分から2時間」と回答する生徒が65%、学校が休みの日の学習時間で「1~3時間」と回答する生徒が65%と集中しています。これは他の年度と比べても少ない学習時間となります。

生徒一人一人が生活習慣を見直してTVゲームやスマホ・携帯の使用時間を減らし、授業以外での学習時間を生み出すことができるようになることが必要で、そのために先に述べた通り生活面と学習面を関連付けた指導を行います。

### ②夢や目標へ向けた日常的な取り組みの必要性

将来の夢や目標を持っている生徒が全国平均を下回り、年ごとの変化も停滞傾向にあります。学習時間も減少傾向であることから、夢や目標が日頃の授業以外の学習の必要性に結びついてい

ないと考えられます。先に述べましたが、将来の夢や目標に向けた自己啓発活動やキャリア教育を進めていきます。

#### (4) ICT

授業中や意見交換をする場面で、ICT 機器を頻繁(週 1 回以上)に使っていると回答した割合が全国平均を上回り、経年的にも大きく増加しています。GIGA スクール構想が進み、ICT の活用が日常化に向かっています。今後も研究部を先頭に校内研修を充実させ、教員の ICT を効果的に授業で使用していく力を高めながら効果的な活用を実践していきます。

#### (5) 主体的・対話的で深い学び

「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」と「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の質問に対して「1. 当てはまる」と回答した割合が全国平均を下回り、経年的にも減少傾向にあります。

大麻中学校の研究部では、『「主体的な学び」の視点からの授業改善』をテーマに研究活動を進めています。このテーマに準じて各教科では、生徒の皆さんが学習の見通しを持ち、課題を発見し、仲間たちと協働しながら解決する経験を積み上げていく授業を実践しています。この取り組みを繰り返しながら質を向上させ、生徒の皆さんが能動的に学習に向かう態度を育成します。

また、昨年度は校内研修を通じて ICT 機器を活用した対話的な活動の方法を全教員で学び、各教科や学級活動で「ジャムボードやフォーム、スプレッドシート (Google 提供のアプリ)」などを使って対話的な活動を実践することができました。今後もこの実践を継続しつつ、状況に応じて対面による対話的な活動を増やすことでより深い学習活動に結び付けていきます。

授業以外や学級活動でも ICT 機器を使用できる環境を整え、主体的に学ぶ手段を増やし、アプリを使った対話的な活動を増やすなど、日常的に生徒が学びに向かいやすい学習環境を整備していきます。

#### (6) 地域との関わり

「今住んでいる地域の行事に参加していますか」「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」の質問に対して「1. 当てはまる」と回答した割合が全国平均を下回り、経年的にも減少傾向にあります。昨年度同様、授業やキャリア学習などを通し、世の中の動きに関心を持ち、夢や目標を持ち、他の人と関わり合いながらどのように生きていこうとするか等、引き続き公民的意識の向上を図ります。

また、地域と連携(コミュニティスクールなどを中心に)しながら全教育活動の中で、地域と共に子どもを育てていきます。

以上のような結果と分析をお知らせとなりましたが、ご質問やご意見等がございましたら学校までご連絡いただきたいと思います。(電話番号：011-386-5341 担当：教頭 高橋 仁)